

所有者等と地域における利用意向とのマッチングについて（空家計画 50 頁）

【計画概要】

① 地域における利用意向の掘り起こし

自治会長などから、利用意向に関する情報を随時受け付ける。
社会福祉協議会と連絡を密にし、福祉利用目的での活用を検討する。

② 所有者等への連絡

利用意向に関する情報を受けた際には、マッチングを行う。

1. 自治会及び社会福祉協議会への意向確認について

(1) 地域の活用意向の確認

令和4年度において、各自治連合会長、自治会長に地元の空き家を高齢者サロン等として活用の意向はないかを確認しましたが、活用の意向は示されませんでした。

(2) 福祉目的での活用検討

福祉目的の利用を要望する団体と、空き家の所有者とのマッチング事業を行っている市町村や社会福祉協議会に、事業の実態等を聞き取りました。

また、空き家の福祉目的需要を把握するため、可児市社会福祉協議会に市内の福祉団体の利用意向等の聞き取りを行いました。

聞き取り結果は、別紙資料6別紙1のとおりです。他市等への聞き取りは5団体に対し行いましたが、成立案件も少なく事業の廃止を検討している団体もあり、事業が軌道に乗っている事例は見つかりませんでした。

可児市社会福祉協議会への聞き取りは、現在、活動場所に困っている団体は1件ある（その後、団体活動終了）ことや、地区社協が空き家を借りて、その地区の団体に共同利用してもらう方法は検討できるかもしれないこと等をお話いただきました。

2. 令和5年度の取り組み

(1) 地域の活用意向の確認

令和5年度も各自治連合会長、自治会長に対し、空き家の活用意向に関する文書配布を行いました。今後、自治会等から空き家の利用意向が示された場合は、所有者とのマッチングに取り組みます。

(2) 福祉目的での活用検討

福祉目的の空き家の活用については、地区社協が空き家を借り、団体が共同利用する活用方法の可能性を、社会福祉協議会の意向を確認する等、検討します。